

和歌山県公共工事入札監視委員会第85回定例会議 議事概要

開催日及び場所	令和5年5月18日(木) 13:30~15:00 和歌山県自治会館 304会議室	
出席委員氏名	沖 本 易 子 (委員長) 永 瀬 節 治 (副委員長) 田 上 順 子 辻 原 治 柳 川 正 剛 岩 橋 靖 子	
審議対象期間	令和5年1月1日 ~ 令和5年3月31日	
抽出案件	総件数 2 件	議事 ○入札及び契約手続の実績状況等の報告 ○抽出工事に係る競争参加資格の認定の経緯等審議 ○意見交換会
一般競争入札	1 件	
条件付き 一般競争入札	2 件	
通常指名競争入札	1 件	
随意契約	1 件	
委員からの意見・ 質問、それに対する 回答	意見・質問 別紙のとおり	回 答 別紙のとおり
委員会による建議 の内容	なし	

意見・質問	回 答
<p>【条件付き一般競争入札】</p> <p>○住吉川河川整備工事</p> <p>1. A委員 落札者だけ総合評価の加算点で地域貢献が3.0、他は2.0となっている。地域貢献の内訳を具体的に教えてほしい。落札者のどの部分が評価され、他者はどの部分が足りないのか。</p> <p>2. A委員 大規模災害時の協定締結とあるが、どこどのような内容の協定か。</p> <p>3. B委員 総合評価落札方式は、金額によって方式が決まっている。今回は予定価格が約1億9千万円だが、特別簡易型を選択しているのはなぜか。</p> <p>4. A委員 応札者が多かった場合、落札価格は低くなる傾向にあるのか。</p>	<p>(発注機関：那賀振興局建設部)</p> <p>1. 管内業者は落札者1者だけであり、地域貢献の本店の有無で1点が入り、他者は0点となっている。そこが3点と2点の違いである。</p> <p>2. 和歌山県と建設業協会との協定があり、災害時に迅速に対応いただけることになっている。</p> <p>3. 通常の護岸ブロック積と既設の矢板を打つ工事のため、特に技術的な提案を求めるところがないのと、2億円未満であって、国土強靱化の事業であるという2点から特別簡易型と判断している。</p> <p>4. 特別簡易型の場合、調査基準価格を下回り、低入札価格調査意向確認書の提出がなければ失格となるため、落札価格は、予定価格と調査基準価格の間になる。応札者が多く利益率が高いような工事は、より調査基準価格に近くなると考えられる。【事務局】</p>

意見・質問	回 答
<p>【条件付き一般競争入札】</p> <p>○国道168号道路改築工事</p> <p>1. C委員 一般的にトンネル工事は、地盤の影響等での変更もあると思うが、このトンネル工事は予定どおり遂行されるということで、工事の変更はないのか。</p> <p>2. B委員 予定価格が約1億8千万円で、総合評価落札方式は特別簡易型としているが、先の案件と同じ理由で判断しているのか。</p> <p>3. D委員 落札者の総合評価の加算点が高かったのは、地域貢献が要因か。</p> <p>4. C委員 国道168号というのは、土質が特殊といったことはあるのか。高田工区のところで、大幅な工事費の変更があったと思うが。</p> <p>5. C委員 工事を進めないとわからないということか。</p>	<p>(発注機関：東牟婁振興局新宮建設部)</p> <p>1. トンネルは掘削をかけないと、不可視部分があるので、岩質が変更の対象となることはある。掘削する岩質の変更であるとか、取り付けの詳細部分の変更等が一般的な変更のパターンと理解している。</p> <p>2. はい。</p> <p>3. 地域貢献の本店の有無の項目で、建設部管内に本店があるので1点の加点。県産品、リサイクル製品の施工実績が認められたため1点。県内開発建設技術の項目で、県内で開発された技術を1品目全数使用するとの技術提案があったため、この0.1点を加えて合計2.1点となっている。</p> <p>4. 先行して新宮側で施工しているトンネル工事かと思われる。土質というよりも掘削土砂の中に環境基準を超過するものが含有している。具体的にはフッ素等が環境基準を超過しているということで、その処分費用について変更したところ。 今回計画している4号トンネルについても、事前に地質調査を行っているが、どうしてもポイントの調査になるので、掘削をかけて一定ロットの抽出試験をやっていくなかで、環境基準を超過していくものが出てきたら、適正に法に基づいて処分する。</p> <p>5. そのとおり。これは実際に掘削した土砂でサンプルをとって、土壌試験を実施する関係上、そうせざるを得ないと考えている。</p>

【意見交換会】

下記について意見交換を行った。

記

1. 公共工事動向について